



パラスポーツのチカラで静岡を元気に！ ふじのくにパラスポーツ推進 コンソーシアムの発足



ふじのくにパラスポーツ 推進コンソーシアム

東京2020パラリンピック大会

静岡県ゆかりの選手が金銀銅メダル13個獲得！



パラアスリートとの意見交換会



静岡県障害者スポーツ応援隊との意見交換会

●日時 令和4年3月14日

●テーマ

- ・今後の応援隊活動への抱負
- ・障害者スポーツの裾野拡大の方策
- ・パラアスリートの発掘・育成・支援の方策
- ・障害者スポーツ推進に必要なハード・ソフト機能

●主な意見

- ・障害者も健常者同様にスポーツができるとのアピールが必要
- ・パラスポーツの**情報一元化**に向けた体制づくりが必要
- ・パラアスリート発掘には、**医療現場との情報共有**が必要
- ・車椅子が床等を傷つけるというのは理解不足
- ・**共生社会**では、パラ専用よりパラ優先のスポーツ施設が望ましい



静岡県パラスポーツ推進協議会



パラアスリートや有識者とともに「障害の有無にかかわらずスポーツ振興」の更なる推進を図るため、具体的な推進策を検討。令和4年度に3回開催。

令和5年3月
報告書「パラスポーツの推進による共生社会の実現に向けて」を知事に提出

＜提言内容＞

① 障害者スポーツの裾野拡大

- ・パラスポーツ情報センターの創設
- ・誰もが楽しめるパラスポーツの普及・理解啓発 等

② パラアスリートの発掘・育成・支援

- ・医科学サポート体制の整備
- ・医療従事者へのパラスポーツの情報提供 等

③ ハード・ソフト機能の検討

- ・パラスポーツ優先施設の整備
- ・体育施設管理者へ理解促進のための研修 等

④ パラスポーツ振興に係る体制整備

- ・推進策を实践・支援するプラットフォームとして、**官民連携のコンソーシアムの創設**



ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム設立総会



パラスポーツの推進策を実践・支援し、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを創出するとともに、パラスポーツを通じて共生社会の実現やSDGsの達成などの社会課題を解決することにより、スポーツを通じた多様性のある社会を実現することを目的として設立

- 日 時 令和5年8月30日
- 会 場 グランシップ会議ホール「風」
- 内 容

① 設立総会

- ・来賓挨拶
- ・規約、役員、事業計画、予算等が承認されました

② 記念イベント

- ・パラスポーツ関係者5人が登壇し、日頃の取組や、コンソーシアムへの期待などをお話いただきました



登壇者所属等	名前
身体障害者野球チーム「静岡ドリームス」代表	西村 慎一
日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員	波多野 俊哉
デフバレーボール選手	武内 晴香
KITAGAWA株式会社 代表取締役社長	北川 雅弘
車いすラグビー選手	若山 英史

ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム 活動理念

愛称：チームパラスポしずおか

Vision

ビジョン

ありたい姿
ミッションを実現した状態

日本一、パラスポーツで幸せを実感できる県になる
～県民が多様性を受け入れ、いきいきと健康に暮らせる共生社会～

Mission

ミッション

存在意義
社会で実現したいこと

パラスポーツのチカラで静岡を元気にします
～いつでもどこでも誰もがスポーツを楽しみ、豊かで活力に満ちた"ふじのくに"～

Value

バリュー

行動指針
組織の価値観や価値基準

パラスポーツで"つながる" "ひろがる" "つくる"
～パラスポーツに共感し、ONE TEAMで共創する～



ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム ロードマップ

区分	2023～2025年度 (令和5年～令和7年度) 【第1期】	2026～2030年度 (令和8年～令和12年度) 【第2期】
----	-----------------------------------	------------------------------------

活動理念

<ミッション> パラスポーツのチカラで静岡を元気にします
 <ビジョン> 日本一、パラスポーツで幸せを実感できる県になる
 <バリュー> パラスポーツで”つながる” ”ひろがる” ”つくる”

活動テーマ

静岡県パラスポーツ推進協議会報告書の実践・支援
 →取組の着実な実践・支援と組織基盤安定

中間評価

SDGs達成への貢献
 →事業領域の拡大と組織基盤強化

県拠点施設整備・運営(+地域展開)
 わかふじ大会参加 3,800人程度(最終目標:5,000人)
 県民認知度 90%以上

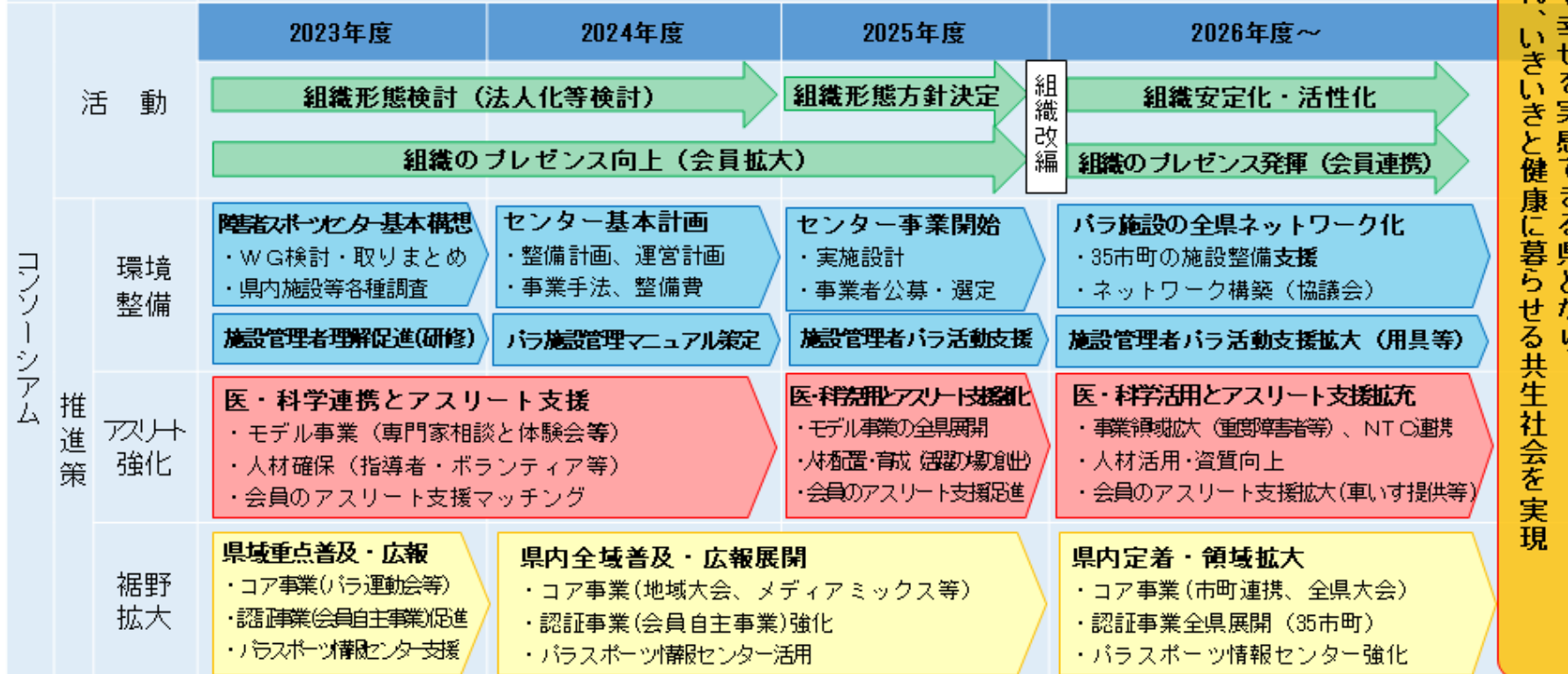
KPIターゲット (達成目標)

障害者スポーツセンター県拠点施設整備事業化(+付加機能)
 わかふじスポーツ大会参加 2,900人程度(実績:令和元年2,902人 令和4年度1,887人)
 パラスポーツ県民認知度 80%以上 (JPSA全国調査 72.4%_2022年7月)

スケジュール

2024パリパラリンピック ●
 2025東京デフリンピック ●

2028ロスパラリンピック ●
 ●2026愛知アジアパラ競技大会



日本一、パラスポーツで幸せを実感できる県となり、
 県民が多様性を受け入れ、いきいきと健康に暮らせる共生社会を実現

ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム 事業

コ ア 事 業

会員事業支援

- 県や県障害者スポーツ協会のパラスポーツ事業との協働
- コンソーシアム会員のパラスポーツ活動への支援

ワーキンググループ (WG)

- パラスポーツの取組推進や会員の共通課題解決
(環境整備WG、アスリート強化WG、裾野拡大WG)

マッチング支援

- パラスポーツに取り組む会員同士のマッチング
- 会員の交流会の開催

環境整備の促進

- 環境整備WGの検討等を踏まえて、パラスポーツができる環境の整備（障害者スポーツセンターの整備等）

アスリート強化

- アスリート強化WGでの検討等を踏まえて、パラアスリートの発掘や育成・支援する取組を実施

普及・広報活動

- 裾野拡大WGの検討等を踏まえて、パラスポーツの取組の普及や国内外への情報発信

認 証 事 業

会員自主事業

- 会員のパラスポーツ事業について、基準を設けて認証
(例 広報活動、イベント、競技用具の開発等)

ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアムの体制

取組方針

- ・様々な企業、団体、個人の参画のもと、会員事業支援、マッチング支援、環境整備の促進、アスリート強化、普及・広報活動を実施。
- ・「環境整備」「アスリート強化」「裾野拡大」の3つのワーキンググループを設置。各分野における課題解決に向けた取組を検討し事業を推進。

総会(会務総括) ■会長 中西 勝則(静岡県障害者スポーツ協会) ■副会長 大須賀 紳晃(静岡新聞・静岡放送) / 出野 勉(静岡県)
■顧問 河合 純一(日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会委員長)

企画委員会(全体マネジメント) ■委員長 杉山金吾(静岡県障害者スポーツ協会)

環境整備
ワーキンググループ

アスリート強化
ワーキンググループ

裾野拡大
ワーキンググループ

事業への参画 (会員)

ファン

地域
ボランティア

民間
企業

競技
団体

アスリート
指導者

医療
リハビリ

福祉
団体

教育

大学
有識者

国
自治体

スポーツ
施設

年会費について

○コンソーシアムの活動のため、会員の皆様には年会費をお願いしております。

会員区分	年会費
団体会員	10,000円／1口～
個人会員	2,000円／1口～

※年会費は、コンソーシアムの事業や運営費に使わせていただきます。

※口数に上限はありません。何口でもお申し込みいただけます。

※国、地方自治体等は、年会費なしで加入いただけます。

※会費の振込手数料は、会員様の御負担となります。

